



特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

[まるめろ通信 / 第89号]

発行日 / 2012年 7月 29日
発行 / 青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175 (23) 1600
みちのく金谷デイ 0175 (23) 0771
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163
脇野沢いこいの里 0175 (31) 5611
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

私の小径
こみち

九死に一生を味わうたび、家族の絆が強くなった。
愛する家族と故郷の伝統を守っていききたい。

倉田 寅太郎 さん 昭和13年生まれ 73歳 / むつ市関根出身



倉田さん自慢の宝物はお母ちゃん。出会いから52年、賑やかな歌や踊りが大好きな夫婦です。

倉田さんは、週1回訪問入浴サービスを利用していただきます。代々続く林業を継いだ息子たちが、わからないことがあるとよく倉田さんに聞きに来ます。そのため、家を空けずに仕事場である自宅でお風呂に入る事ができる訪問入浴サービスに魅力を感じました。

訪問入浴サービスは看護師や介護職員など3人で訪問し、入浴前後には健康チェックや処置をしてもらえることも安心です。

「使ってみて、これはいいもんだと思った。丁寧にやってくれて、いつも賑やか。病気になる前は石神温泉に通っていたけど、風呂に入ってたビールを2、3杯飲んでカラオケ歌えば、支払いも同じようなもんだ。」

といたずらっぽくニンマリ。

平成23年12月、いつも通り仕事を終えた後、急な発熱と意識混濁で病院に運ばれました。診断は化膿性脊椎炎。両下肢に強い麻痺が残り、歩くことができなくなりました。自分の病気が信じられず、別の病院も受診しましたが、診断は変わりませんでした。

チエーンソーでの伐採や大型機械を扱う危険な仕事上、骨折やケガを何度も経験してきた倉田さん。その度に支えてくれたのは家族でした。

「苦しい時、親戚が『この世の中、わからない病気なんてあるわけない。じえんこ(お金)だけ出すから治してこい!』と励ましてくれた。普段はあまり話さない娘も『死なないで』と祈るように言ってくれた。」

涙をにじませ、その言葉に込められた優しさをかみしめます。

入院中は、飼牛の世話でなかなか家を空けられない奥様に代わり、お嫁さんたちが通ってくれました。

「歩けなくてもどうでもいい。お父ちゃんが家にいてくれればそれでいい。」という奥様や息子たちの言葉で、車椅子で生活することへの不安は消えました。

今年3月に退院してからは、居間のソファが倉田さんの定位置。窓から外の様子を確認しながら、「乗ってしまえば飛行機でも動かす」と豪語する機械操作の豊富な経験を活かし、息子たちへの指導に熱が入ります。

今後の目標は、神楽や手踊りを若い世代に教えることです。伝統芸能を守ることは育ててくれた両親や故郷への恩返しだと思っからです。

「誰でもできるわけではないが、できれば息子に仕込みたい。」

温和な笑顔のなかに、ワイルドな魅力あふれる倉田さんです。

記 / 村林 優里



イチオシ!
シリーズ⑩

みちのく金谷総合
デイサービスセンター

ウォーターベッド式
マッサージ器

みちのく金谷総合デイサービスセンターのホールには、ウォーターベッド式マッサージ器を設置しています。多種多様な趣味・活動を行ったあとや日常生活で少し疲れたとき、ゆったりとした時間を過ごしたいとき、マッサージ器が15分間の快適なリラクゼーションを提供します。心身ともにリラクセス。

首や肩、腰など全身が楽になり自然と表情もおだやかにになります。朝、金谷デイサービスにきたらまずはマッサージ器の予約をするという方もいらっしゃるほどの人気。金谷デイサービスでの「癒しの時間」を体験してください。

私たちが提供しているサービスには、「え?こんなことできるの?」と思うようなことがたくさんあります。「イチオシ!シリーズ」でさまざまなサービスを紹介します。

やさしい街づくりを応援しています。

第19回むつ市公民館まつり 出展のお知らせ

みちのく荘総合ケアセンター

今年も地域貢献の一環として、むつ市公民館まつりに参加します。

今年には医療と福祉をテーマに、生活に役立つ情報を発信していきたいと考えています。当日は、みちのく荘のマスケット「めろめろちゃん」のミニゲームもあります。地域のみなさんと交流ができることを楽しみにしています。

(日時)平成24年9月1日(土) ~ 2日(日)
午前9時 ~ 午後3時まで

会場 所むつ市中央公民館
(問い合わせ)
みちのく荘総合ケアセンター
0175(23)7070 担当/野里

海・山なくして、下北半島は語れない。

総合食品卸問屋

大市 株式会社

青森県むつ市大曲二丁目14番33号
TEL 0175-22-5525
FAX 0175-22-7172

快適な環境づくりのお手伝い

- 介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
- 住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**

〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13
TEL 0175-22-9511

有限会社 東北環境サービス
TEL 0175-22-3927

住まいの
お掃除屋さん



ウィデイの日記



出身地 インドネシア共和国 ドゥマク町 (ジャカルタ市から飛行機で約45分)
趣味 ギター演奏、サッカー

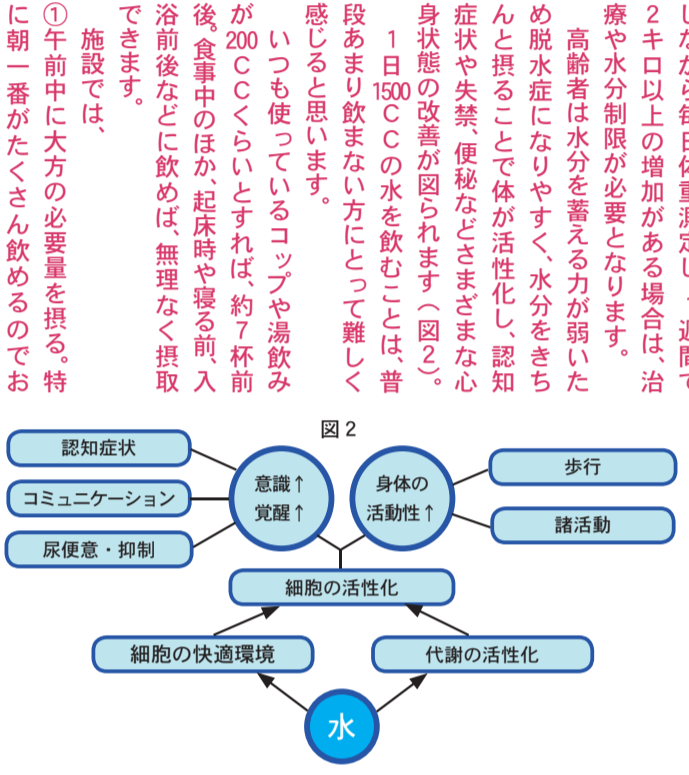
6月11日から13日に職員旅行で北海道に行きました。もつから北海道まで何回も乗り換えました。電車で海の中を通り、本当に信じられなかった。北海道に着くのもう夜。ホテルに泊まりました。初めての入りでしたが、とても恥ずかしかったです。
次の日、色々な所に行きました。フラワーランド上富良野では、ラベンダーを撮りました。旭山動物園では初めにペンギンを見ました。そしてインドネシアの動物へオランウータンとサッポロビール園に行きました。本当に賑やかなところでした。サッポロビール園に行きました。本当に賑やかなところでした。サッポロビール園に行きました。本当に賑やかなところでした。

ウィデイさんは、EPA(経済連携協定)第三期生として平成22年12月にクルニアワンさん・エルナさんとともにみちのく荘にやってきた介護福祉士候補生です。
2年に1度行われる職員旅行で介護福祉士候補生5名は、北海道旅行に参加しました。写真は富良野チリス工房で撮影したものです。インドネシアでは大人数枚のコースで入浴するという生活習慣がありません。初めて入った温泉、恥ずかしがりながらも満喫してました。(編集委員)

シリーズ 科学的介護のススメ その1

みちのく荘では、全国老人福祉施設協議会主催「介護力向上講習会」に参加し、科学的介護を学び、その実践に取り組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排泄・運動」といった基本ケアを、科学的根拠(エビデンス)に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。高齢者の方々が自分らしく輝いた人生を送るために、介護が必要な状態にあってもいかに自立へ導き、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)を高めることができるかが、私たちの大切な役割であると考えています。
【水分ケア】

介護力向上委員会 濱田郁子
研修ではまず、「水」の大切さを学びました。人間は体重の60%が水分で、高齢者では50%です。細胞のほとんどは水分が占め、毎日体内を出入りしています(図1)。
総水分量の1%が不足すると意識レベルが低下、2~3%では発熱・循環機能障害を引き起こします。1日に必要な水分量は最低1500CCです。糖尿病患者、利尿剤を服用している場合は1800CC、経管栄養の方では食事+水分で2200CCが必要です。
重度の心不全の方は、水分ケアをしながら毎日体重測定し、1週間で2キロ以上の増加がある場合は、治療や水分制限が必要となります。
高齢者は水分を蓄える力が弱いため脱水症になりやすく、水分をきちんと摂ることで体が活性化し、認知症状や失禁、便秘などさまざまな心身状態の改善が図られます(図2)。



①午前中に大方の必要量を摂る。特に朝一番がたくさん飲めるのでおすすめ(細胞が早く目覚め、日中の活動性が増えます)。
②ジュースやゼリーなど好きな物から始める。
③いつでもどこでも水が飲める状態にし、一口ずつでもこまめに勧める。
(事例)長期施設入居者Hさん(80歳男性)
2年前から歩けなくなり食事も全介助で、1日中ぼーっとして過ごしていました。
水分ケアを始めて半年過ぎ、1日の水分量1500CCを達成した頃から、徐々に起きていられる時間が長くなり、今では常食を自力で食べ、歩行器で園内を自由に歩けるようになりました。何よりも、センスの良い冗談で皆を笑わせるようになったことが最大の喜びです。水だけでこんなに変わるのかと、職員の意識とやる気を高めてくれた瞬間でした。

まるめろ公文書館 シリーズ④ みちのく荘の墓について
それぞれの家庭では、寺院の境内や公園墓地などに故人の遺骨を納め供養するため、一家の墓を建てる場合が多いと思います。
みちのく荘では、平成7年12月14日に常楽寺(むつ市大湊上町)の石井良道住職のご厚意により、常楽寺墓地に念願の「みちのく荘の墓」を建立しました。老人ホームの墓としてふさわしいように、階段の高さや幅、手すりの設置などにも気を遣った設計で、当時としては珍しいタイプで高齢者でも参拝しやすいバリアフリーの墓とすることで注目を集めました。墓の内部は、利用者の家族のさまざまな事情に配慮して、骨壺で保管できるような構造になっています。一時的に数年間、お預かりした利用者の骨壺が一件ありましたが、現在のところは墓に納めてある骨壺はありません。
少子高齢化とともに、一人暮らしの高齢者が増えていく状況の中、みちのく荘の施設で暮らし、最後は「みちのく荘の墓」で永遠の眠りに就く利用者が今後増えるのではないかと考えています。みちのく荘はどのような時代の変化の中でも、人の縁を大切に生涯にわたり安心できる地域福祉の構築を考え続けていきたいと考えています。

社会福祉法人青森社会福祉振興団の平成23年度の決算を報告します。
社会福祉法人は、財務内容の一般公開が義務づけられています。みちのく荘は、これからも市民のみならず必要情報は公開していきたいと思ひます。さらに詳しい内容につきましては、施設において閲覧できます。
総括資金収支計算書
総括事業活動収支計算書
総括貸借対照表

やさしい街づくりを応援しています。
登録ヘルパー(パート)職員募集
みちのく荘総合ケアセンター訪問介護ステーション
〈募集人数〉5名
〈営業時間〉7:00~21:00
①通常(8:30~17:00)
②早番(7:00~8:30)
③遅番(17:00~21:00)
〈時給〉①通常 900円~
②早番 1,000円~
③遅番 1,000円~
〈資格〉ヘルパー2級または介護福祉士をお持ちの方
〈問い合わせ〉人材部 0175(23)1600 担当/奥島